

自主ノート＝努力したしるし

2日間にわたった期末テストが終わりました。日々の勉強の成果を、解答用紙に十分ぶつけることができたでしょうか。全力でテスト問題に向かったこの2日間に、ひとまず、ご苦労さまでした。

さて、テストが終わった今、気になるのは結果(点数?順位?)でしょうか? 中間テストの時も話しましたが、結果だけで自分の力を決めつけないということ。大切なのは、テストに向けてどれだけ準備(勉強)ができたかということです。今回は、その準備の中身について考えてみましょう。

テストの前にやることといえば、まず各教科のワークなどの提出物があります。しかし、これは

「全員が同じにやるもの」＝「友達とは差がつかない」
ということです。だから、ただワークなどの提出物をこなすだけでは、自分の力をつけることにはならないし、友達との戦いとなる順位を上げることにはならないのです。

自主ノートはどうでしょう。自主ノートでの勉強の中身や分量は、自分で決めます。つまり、

「1人1人内容がちがう」＝「友達と差がつく」

ということです。自主ノートでどれだけがんばれたかで、自分の力がつくことになるし、そこが友達との差をつける(順位を上げる)ポイントになるのです。自主ノートが、自分の努力したしるしということなのです。塾へ行ったり、家庭学習の教材を別を買ってやっていたりと、他にもやることのある人もいます。部活でも疲れて帰ってきます。いろいろあることは、みんな同じなのです。自分で中身や分量を決めるのだから、楽もできます。けれども、そこで(言い訳しないで)どれだけがんばれるか。少し厳しいと感じるかもしれませんが、自分で辛いこともがんばれる人だけが、本当に自分の力を伸ばせる人なのです。実は勉強でも部活でも同じじゃないですか!?

自主ノートへの取り組みランキング
(6/20~24 提出分)

くん	46ページ
ん	39ページ
さん	38ページ
ん	35ページ
さん	33ページ
さん	32ページ
さん	31ページ

テストが終わって…、もう1つ

部活動では、もうすぐ夏の中体連です。ここで負けたら、3年生は引退。部活動は終わりです。

先日の道徳で読んだ「九番バッター」では、足も遅い、背も低い、力もない…と自信がなく、不安で部活を始めた主人公でした。つまらなさと感じながらも、前向きに練習をがんばり続け、周りの人に認められることで自信を持ち、大会で活躍しました。最後には涙を流しました。

これから、その引退のときを目前にひたむきに取り組む3年生の姿があるはずです。その姿をよく見て、3年生と共にごんばれる時間を大切にして、取り組んでみてください。

